

NEXT Logistics Japan 自動荷役を2023年7月より実装開始

～ 自動運転フォークリフト×自律走行搬送ロボットの連携により、荷下ろしの一部自動化を実現 ～

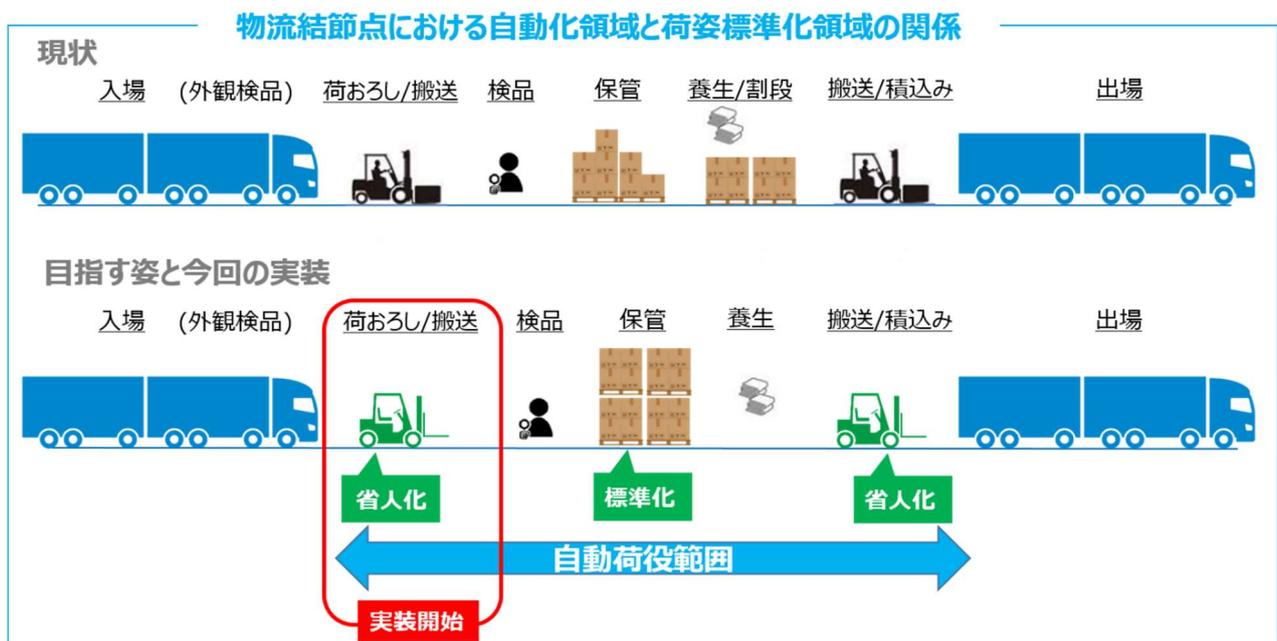
NEXT Logistics Japan 株式会社(本社:東京都新宿区、社長:梅村幸生、以下 NLJ)は、将来の物流結節点における作業の自動化に向け、7月より自動荷役の実装を開始しております。令和3年度より経済産業省による「物流 MaaS の実現に向けた研究開発・実証事業」実施団体として NLJ が選出され、実証を行ってきた経験を生かし、自動運転フォークリフトと自律走行搬送ロボットを用い、一部支線のトラックからの荷下ろしを実運行の中で実施しております。

物流 2024 年問題として始まる「モノが運べなくなる」という社会課題の解決を目指し、NLJ が構築する高効率輸送スキームをより幅広い荷主様や物流事業者様と一緒に推進すべく、今後も、自動荷役技術のさらなる発展に向けた取り組みを一層加速してまいります。

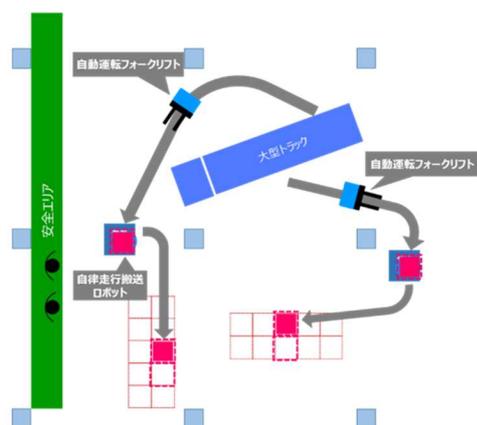
■実装概要

7月より自動運転フォークリフトと自律走行搬送ロボットの連携による荷役作業の自動化において、以下の実装をしております。

- ✓ 弊社相模原センターに日々入庫する、一部支線便トラックからの荷下ろし
- ✓ トラックの両側からの同時荷役



自動運転フォークリフト×自律走行搬送ロボットが連携



連携イメージ



実装中の様子

■ 今後 NLJ で実施する取り組み

- (1) トラックへの荷積み
- (2) 荷積み/荷下ろし時間の短縮
- (3) 同一荷室内における異種混載パレットの荷役

今後は、さらに車両情報や荷物情報と連携したシステム環境の構築に取り組んでまいります。

■ 協力会社 株式会社アイシン（自律走行搬送ロボット提供）

株式会社豊田自動織機（自動運転フォークリフト提供）

<取材申し込み・問い合わせ先>

NEXT Logistics Japan 株式会社 仲間づくり Div 高木 船越 TEL:03-6911-1691